

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ		団体ウェブサイトURL
	株式会社 影向舎		http://www.yougou.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
制作団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
電話番号	046-297-0255		
ふりがな 公演団体名	わろうてっぺい かみがたらくごとえいごらくご		団体ウェブサイトURL
	「笑てっ亭」上方落語と英語落語		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
公演団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
制作団体 設立年月	昭和60年3月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	(株)影向舎 小池岳士・小池将直 他		制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	小池弘美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)			

<p>制作団体沿革</p>	<p>《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》 学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを35年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。 創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。 現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演、令和2年度＝160公演、令和3年度＝240公演、令和4年度＝240公演</p> <p>上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。 ※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。 ※平成21年度～令和5年度「北海道巡回小劇場」に15年度連続で参加。</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>「笑てっ亭」においての実績は有りませんが、弊社の他作品においての実績に基づき、実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてしっかりとヒアリングを行います。その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。実施校からのご希望に臨機応変に対応いたします。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/VeGwuai_MGQ</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	「笑てっ亭」上方落語と英語落語			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【別添①をご参照ください】			
	公演時間 70 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	【別添②をご参照ください】			
演目選択理由	<p>◎上方落語 落語の滑稽な要素を強調するため、全国的には江戸落語に比べて認識が薄い上方落語に、あえて焦点をあてました。</p> <p>◎英語落語 伝統と革新、上方落語の可能性を感じてほしい。 また、グローバル化していく世の中で、世界に発信できる落語を知っていただきたい。 そんな思いで構成いたしました。</p> <p>◎演目について その日の児童・生徒さんの様子を見て落語家はその場で決めます。</p>			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p><ワークショップ> 英語落語コンテストにて、代表ペアが、2人1組で小ばなしの発表をしていただきます。</p> <p><本公演> 体験コーナーで生徒さんによる落語家の仕草の体験。</p> <p><事前> WSでの小ばなしの発表の為、2人1組での小ばなしの実演の練習。(また可能であれば、小ばなしの創作)</p>			

<p style="text-align: center;">出演者</p>	<p>出演者:2名 落語家(桂かい枝、桂福龍またはダイアン吉日)</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</p>	<p>出演者: 2 名 スタッフ: 2 名 ----- 合 計: 4 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t 車 長: 5.3 m 台 数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7:30	07:30～10:45	WS 11:00～11:50 本公演 13:30～14:40	WS、本公 演共に0 分	14:50～16:30	16:30

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	14日	9日	19日	22日	
	11月	12月	1月	計	137日	
	20日	18日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	14名(小ばなしLGP、体験コーナー合計)
		鑑賞人数目安	制限無し

(図1)公演中の様子。



(図2)舞台で設営するのは高座と袖の飾り、背景のスクリーンとシンプルですが、限られた機材の中で、最大限の効果を出せるように考慮しており、スクリーンには、プログラムの内容に応じて、舞台背景や、字幕、イラストなどが投影されます。



(図3)学校のステージ背景の壁へのプロジェクター投影が可能な場合、そちらに投影することも有ります。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限無し
ワークショップ 実施形態及び内容	【別添③をご参照ください】		
ワークショップの ねらい	<p>ワークショップでは、かい枝(日本人)と福龍(カナダ人)2人の異なる立場から見た日本・世界についての「異文化トーク」や、代表者が英語で小ばなしを演じる「英語小ばなしグランプリ」を経て、英語(世界)についての興味、理解を深め、本公演では、鑑賞に特化したプログラムの中で、上方落語、英語落語を楽しんでもらいながら、落語ってどんなものなのか、英語落語ってどんなものなのかを理解していただけることを目的に、WSと本公演で内容の性格をしっかりと分け、メリハリをつけることによって、子ども達の中へ印象が残りやすいよう、工夫をしております。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	【別添③をご参照ください】		

本事業への申請理由

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

下記は弊社(影向舎)の学校公演での公演実績に基づき記述されたものです。
***弊社**は学校の古典芸能で年間600超ステージの実績を有しております。
 (業界では実績一位)

①本事業に対する取り組み姿勢

弊社は全国の高等学校、中学校、小学校において、古典芸能を中心に演劇、音楽と様々な舞台芸術をご紹介して参りました。その公演数は年間500～600に及び、わが国の青少年向けの団体では最大規模と自負しております。

学校公演の目的を「生徒さんが今まで出会うことがなく、これからもなにかの機会がなければ出会うことがないものを紹介する」と考えています。「いかにして生徒さんに楽しんでもらうか」これが弊社クルー(出演者とスタッフ)の仕事、常に生徒さんが大人になった未来に結果を見据えて取り組んでいます。

これこそが弊社の揺るぎない姿勢であり、理念です。当然のことながら、これは本事業でも変わることはありません。

従って本事業においては、本公演(鑑賞)で「面白かった」「感動した」とより強く感じて頂く事が最も重要と考えています。体験や創作は、よりよく鑑賞いただくための要素とし、また生徒さんを誘う空間演出(本格的な舞台演出)にこだわります。本物の、本気の文化芸術を提供いたします。

落語を好きになるきっかけになれば

落語は一人座布団に座り、色々な登場人物を演じ分け、必要不可欠な小道具のみを使って演じる、他国に類を見ない、日本が世界に誇る伝統芸能です。

この究極の一人芸が成立したのは、日本語が持つ多彩な語彙(ボキャブラリー)、そして四季に

彩られた日本独特の風土があってこそといえるでしょう。

落語の笑いの中には風情があり、人情があり、「日本人に生まれてよかった」って思える瞬間が数多くあります。

私たちはせっかく日本人で生まれて来たのですから、ぜひ児童・生徒さんにこの素晴らしい芸能を知って、好きになってほしい。このプログラムがそのきっかけになればと思うのです。

上方落語は笑いのルーツ

落語には大きく分けて関西の上方落語と関東の江戸落語の二つの流れが存在し、現在でもそれぞれで興行が営まれています。江戸時代中期に示し合わせたように上方と江戸で落語は産声を上げます。しかし成り立ちが異なっており上方落語が辻咄《つじばなし》(大道芸)、それに対し江戸落語は座敷噺(屋内)から発展していきました。必然的に上方は派手で陽気な滑稽噺が、江戸はじっくりと聞かせる人情噺などが主流となっていったのです。

皆さんが思い浮かべる滑稽噺(笑いの多い噺)のほとんどが上方落語で生まれたものです。大正時代になると落語の東西交流が盛んになったのですが、これは関東大震災で大打撃を受けた東京の落語家が演じる場を求めて大阪に流れていったこともあります。そして、彼らがそこで出会った多くの滑稽噺や当時は上方にしか存在しなかった下座(音楽)を東京へ持ち帰ったとされています。

また、「上方落語の始祖」といわれる米沢彦八(よねざわひこはち)という人がいます。彼は道行く人々を注目させるために辻咄だけでなく物真似など道具も使いお客さまを楽しませ、人気を博しました。これは今でいういわゆるピン芸(一人芸)の元祖です。

こういった例をはじめ、上方落語に端を発する芸には昔も今も老若男女さまざまな人々を笑いで包み込む魅力があります。ただ目の前の人を笑わせたい、上方落語はまさに日本の笑いのルーツといっても過言ではないのです。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

英語落語を構成した理由

世界中の人たちに「落語という凄い芸能を知らしめたい」「落語で笑わせたい」、そのような思いで上方落語家である桂かい枝は英語落語を始めました。海外だけではなく国内でも演じてみると「斬新すぎる！面白い！」「メリハリがあつて初めて聞いた落語でもこっちの方が分かり易い！」など思わぬ反響を呼び、また中学校・高等学校の教科書に自身の英語落語が載ったことがきっかけに、特に学校の芸術鑑賞会としての需要が今、非常に増えています。

学校公演で英語落語を演じる時には、もちろん囃のところどころに英語を入れていきますが、日本語と英語の配分は対象児童・生徒さんのその時の反応に合わせて自由に変化させることが出来るので、どのような学校でも受け入れやすいのです。

2020年、日本では小学校でも英語教育が本格的に始動されます。この英語落語は近い将来、英語学習の導入部として最適かと考え、「英語落語でより身近に英語を感じてもらえれば・・・」そんな思いも込め、英語落語を今回のプログラムに組み込んでいます。

●専門職分業を結集して最高の公演を行う

【”芸人は笑いのプロフェッショナル” ”スタッフは舞台設営のスペシャリスト”】

本事業において落語家を始め出演者である寄席芸人が舞台設営を行うことは決してありません。芸人は子どもたちの記憶に残る寄席公演となるよう出演に専念します。スタッフはその出演者のエネルギーが最大限に発揮されるよう熟練の舞台監督の指示の下、体育館に寄席空間を設営します。両者がそれぞれの専門性を分業しつつ、どの学校においても最高の公演になるよう力を合わせます。

② 事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

<段取り面での工夫>

これまでの経験を活かし、初めて開催される学校様でも不安なく公演に臨めるよう、水先案内人を務めます。

○常にお問い合わせにご対応できる体制

平日は常にデスクスタッフが常駐しており、お問い合わせにご対応できる体制を整えております。また公演が近づくと細かなお問い合わせが多くなります。そこで当日担当のスタッフの携帯番号も学校様にお伝えしています。

○「公演日までのお手引書」をお渡しします。

公演までの段取り、当日の注意点なども諸々がこれ一冊に記載されており、打ち合わせ時の記録にもご利用いただけます。

○専門スタッフによるサポート

弊社の舞台、制作、デザインの専門スタッフが全力でサポートいたします。

<公演面の工夫>

「ワクワク、ドキドキ」を大切にして様々な演出を施しました。徐々に慣れながら目的(本公演の成果)に向け進んでいくように工夫しました。

事前の小ばなしの実演、練習「小ばなし＝落語に少し興味を持つ」



ワークショップでは事前に練習をした小ばなしの実演をし、またそこでプロからの演技指導を受けることによって、通常の演技と落語の違いを知り、落語に対して興味を深めてもらう。また、小ばなしを英語でも行うことにより、英語への興味を持ってもらう。



「期待」を持って本公演に！



公演後「落語や英語が好きになる」

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語】

① 離島・へき地等における公演実績

◆平成26年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Aブロック》
北海道 別海町立上西春別小学校・北海道 白糠町立白糠中学校・北海道 浦臼町立浦臼小学校・青森県 七戸町立天間西小学校・青森県 西目屋村立西目屋小学校

◆平成27年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Dブロック》
岐阜県 下呂市立馬瀬小学校・長野県 飯綱町立牟礼西小学校・静岡県 東伊豆町立稲取小学校

◆平成28年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Cブロック》
山梨県 甲斐市立敷島北小学校

◆平成29年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Iブロック》
長崎県 壱岐市立箱崎小学校・長崎県 壱岐市立沼津小学校・長崎県 五島市立三井楽小学校・長崎県 島原市立三会中学校・長崎県 東彼杵町立千綿中学校・佐賀県 嬉野市立大野原小中学校・佐賀県 伊万里市立大川小学校・熊本県 氷川町立宮原小学校・長崎県 雲仙市立千々石第一小学校・長崎県 壱岐市立石田中学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業「笑てっ亭」《I/Jブロック》
※C区分公演として

鹿児島県 和泊町立国頭小学校・鹿児島県 和泊町立大城小学校・鹿児島県 和泊町立和泊中学校・宮崎県 小林市立須木中学校・鹿児島県 曾於市立菅牟田小学校・鹿児島県 志布志市立潤ヶ野小学校・鹿児島県 指宿市立西指宿中学校・長崎県 長崎市立長崎中学校・大分県 大分市立宗方小学校・福岡県 豊前市立八屋小学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業「落語と紙切り」《I/Jブロック》
※C区分公演として

鹿児島県 西之表市立伊関小学校・鹿児島県 南種子町立大川小学校・長崎県 ながさき東そのぎ子どもの村小中学校・佐賀県 伊万里市立牧島小学校・長崎県 壱岐市立鯨伏小学校・長崎県 壱岐市立勝本中学校・鹿児島県 霧島市立牧之原中学校・福岡県 北九州子どもの村小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業「笑てっ亭」《Kブロック》
※C区分公演として

岐阜県 揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県 大垣市立多良小学校・福井県 勝山市立荒土小学校・京都府 亀岡市立育親中学校・福井県 坂井市立兵庫小学校・愛知県 刈谷市立依佐美中学校・福井県 大野市立和泉中学校・富山県 高岡市立川原小学校・石川県 小松市立松東みどり学園・石川県 川北町立橋小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業「落語と紙切り」《Kブロック》
※C区分公演として

三重県 熊野市立明日香中学校・奈良県 御所市立秋津小学校・和歌山県 日高川町立笠松小学校・和歌山県 有田川町立田殿小学校・和歌山県 有田市立港小学校・和歌山県 田辺市立上芳養小学校・和歌山県 日高川町立川原河小学校・和歌山県 日高川町立和佐小学校・大阪府 大阪市立開平小学校・和歌山県 橋本市立学文路小学校・奈良県 上北山村立上北山やまゆり学園

◆過去3年度 学校公演実績【都道府県順不同】

根室市教育員会(北海道根室市)・夕張市教育委員会(北海道夕張市)・本別高校(北海道中川郡本別町)・別海高校(北海道野付郡別海町)・豊頃町教育委員会(北海道中川郡豊頃町)・岩内高校(北海道岩内郡岩内町)・七戸高校(青森県上北郡七戸町)・有田工業高校(佐賀県西松浦郡有田町)・東串良高校(鹿児島県肝属郡東串良町)・波佐見高校(長崎県東彼杵郡波佐見町)・築城西高校(福岡県築上郡築上町)・入善高校(富山県下新川郡入善町)・川内高校(鹿児島県薩摩川内市)・相良高校(静岡県牧之原市)・小城高校(佐賀県小城郡小城町)・武雄高校(佐賀県武雄市)・鹿本農業高校(熊本県山鹿市)・香川中央高校(香川県香川郡香川町)・向陽高校(沖縄県島尻郡具志頭村)・小牛田農林高校(宮城県遠田郡美里町)・指宿市立指宿商業高校(鹿児島県指宿市)・南部商業高校(沖縄県島尻郡八重瀬町)・那覇工業高校(沖縄県浦添市)・南大隅高校(鹿児島県肝属郡根占町)・与勝高校(沖縄県うるま市)・出水工業高校(鹿児島県出水市)・長野原高校(群馬県吾妻郡長野原町)・大槌高校(岩手県上閉伊郡大槌町)・蔵王高校(宮城県刈田郡蔵王町)・住田高校(岩手県気仙郡住田町)・赤井川村教育委員会(北海道余市郡赤井川村)・孀恋高校(群馬県吾妻郡孀恋村)・尾瀬高校(群馬県沼田町)・俱知安高校(北海道虻田郡俱知安町)・和気閑谷高校(岡山県和気郡和気町)・七飯高校(北海道亀田郡七飯町)・月形町教育委員会(北海道樺戸郡月形町)・木造高校(青森県つがる市)・伊具高校(宮城県伊具郡丸森町)・大空町教育委員会(北海道網走郡大空町)・桧山北高校(北海道久遠郡せたな町)・加治木工業高校(鹿児島県始良郡加治木町)・石巻北高校飯野川校(宮城県石巻市)・杵島商業高校(佐賀県杵島郡大町町)・郡上高校(岐阜県郡上市)・田村高校(福島県田村郡三春町)・川内商工高校(鹿児島県薩摩川内市)・鹿屋中央高校(鹿児島県鹿屋市)・芦北高校(熊本県葦北郡芦北町)・玉東中(熊本県玉名郡玉東町)・静内高校(北海道日高郡ひだか町)・知念高校(沖縄県島尻郡与那原町)・名護商工高校(沖縄県名護市)・美来工科高校(沖縄県沖縄市)・種子島高校(鹿児島県西之表島市)・読谷高校(沖縄県中頭郡読谷村)・高松東高校(香川県木田郡三木町)・安房拓心高校(千葉県安房郡和田町)・皆野高校(埼玉県秩父郡皆野町)・香春町教育委員会(福岡県田川郡香春町)

② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

寄席演芸は、お客様と芸人一人、座布団一枚で成立する機動力の高い芸能です。C区分に申請するにあたり、そのフットワークの良さを活かしつつ、より落語の魅力を子供たちに体感してもらうべく番組構成・舞台設営を行います。笑いは、日本のどこでも隔てがありません。津々浦々に落語の楽しさをお届けします。

③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫

○機材の運搬、スタッフの移動をワゴン車1台に集約

離島などの公演では、すべての道具を宅配できるようにしています。

○限られた機材の中でステージセッティングを保つための工夫

高座とスクリーンのシンプルな舞台設定ですが、プロジェクターの映像を駆使することで、大掛かりな舞台セットでなくても変化を与えることが可能となり、見た目の華やかさを損なわずに空間演出ができます。

リンク先

No.2

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

本公演演目

別添①

笑てっ亭 本公演

【時間】70分

プログラム

※以下プログラム内、出演者「桂福龍」はスケジュールの都合によって、「ダイアン吉日」に変更になる場合があります。

ここは大阪、繁華街の寄席『笑てっ亭』
大いに笑っててください

👍 = 意図（知っていただきたい内容）と工夫

英語落語の前にまずは落語を一席お楽しみください

1 落語 桂かい枝 『平林』 『初天神』 など ※落語のネタは鑑賞対象の学年や雰囲気などで決定します

プログラムの最初にまずは分かりやすい落語を一席お楽しみいただき、落語ってどんな芸能なのかをお伝えします。

👍 一人何人も演じ分け、会話で話が進んでいく落語。まずは純粋に落語が楽しいということを知ってください。

！ 落語の解説の要素をマクラに入れていきます。
(マクラで落語についての解説)

落語の本題に入る前の部分を「マクラ」といい、通常は、マクラでお客様へ小ネタや時事ネタを振り、その日のお客様の反応を確かめます。笑てっ亭では、このマクラの部分で、はじめて落語に触れる子どもたちに「落語」や「上方落語」の特徴や、扇子の手ぬぐいの使い分けなどについて、面白い話の中でご説明いたします。

上方落語で使う「見台」について
小道具・扇子について
落語で使う「手ぬぐい」について
上方落語の「見台」について

英語で笑おう！



英語落語 桂福龍 『寿限無』

英語落語メーカー

英語 90%

日本語 10%

※児童・生徒の状況に応じて、英語と日本語のバランスを調整しながら演じます



英語の割合が多いけど、大丈夫！

プロジェクターで字幕を投影いたします

桂福龍が寿限無を英語で演じる背景には、日本語の字幕を投影いたしますので、訳を確認しながら楽しめます。

有名な落語の噺「寿限無」を、ネイティブスピーカーである、カナダ出身の噺家・桂福龍が英語で演じます。



ネイティブスピーカーの話す英語で実際に笑う＝「英語が理解できた」経験は、子供たちに大きな成功体験となるはずですよ。

本公演演目



音に合わせ、イラストを投影。耳と目で『英語』を楽しむ！

3

英語落語 桂かい枝

『動物園』『まんじゅうこわい』

映像

New!

英語落語メーター

英語 60%

日本語 40%

※児童・生徒の状況に応じて、英語と日本語のバランスを調整しながら演じます



英語で落語が楽しめるか心配。でも大丈夫！

プロジェクターでイラストを投影いたします

桂かい枝が英語落語を演じる背景には、この公演の為に作成をしたオリジナルイラストを投影。視覚的にも落語を楽しめます。



トリは上方落語界の雄、桂かい枝の一幕。今度は英語落語をお楽しみ。



いよいよ『笑てっ亭』の席亭である桂かい枝の登場。英語落語に合わせたイメージイラストが理解を助けます。

New!

【工夫】桂かい枝の英語落語の演目に『まんじゅうこわい』を追加。2つの演目から選択いただけます

令和6年度より、かい枝が演じる英語落語のネタに『まんじゅうこわい』を追加いたします。（『動物園』同様に、『まんじゅうこわい』に合わせたイラストを投影いたします。）
どちらのネタを演じるかは、本公演打ち合わせの際に、ご相談の上、選択いただけます。時代設定が現代で、動物園が舞台となる、イメージの湧きやすい『動物園』と、“古典”のスタンダードな演目で分かりやすく、児童書などで目にする機会も多い『まんじゅうこわい』。どちらであっても学校の雰囲気に合わせて、英語の量を調整するなど臨機応変に演じますが、低学年の児童さんがいる場合、話の内容や英語表現がより分かりやすい『まんじゅうこわい』をお勧めいたします。



本公演演目

思ったよりも難しい！？みんなで楽しく落語に挑戦



上方落語チャレンジ <体験コーナー>

うどんを食べるなどの「仕草」体験。^{かみしも}上下を振って（=左右を見て）「小ばなし」体験。華やかな上方落語を肌で感じてください。

👉 簡単そうに見えて、演ってみると結構難しい落語。体験をとおして「凄い！」と感じてもらえれば。



最後はみんなで記念写真。合言葉は『ウイスキー』！！



フィナーレ

最後はみんなで記念写真を撮ります。写真を撮る時、日本では、「ハイチーズ」と声を掛けますが、カナダでは「ウイスキー」と呼びかけます。歯を見せて全開の笑顔で写真撮影をしましょう。

👉 ワークショップの異文化トークコーナーで日本と世界の違いについての話で写真を撮る時の違いについて触れます。それを受けての記念撮影。学校も記念にご撮影ください。



本公演演目

リンク先

No.2

【公演団体名 「笑てっ亭」上方落語と英語落語 】

演目概要

別添②

Hello!

Laugh & Peace!

笑てっ亭

素晴らしい日本の
笑いの原点、
上方落語の世界

落語を
英語で笑う!
笑いは世界の共通語

上方落語と英語落語

Let's English

【監修】桂かい枝（落語家）※2007年度 文化庁文化交流使

公演に込めた思い

笑 落語を好きになるきっかけになれば

落 語は一人で扇子と手ぬぐいだけを使い、色々な登場人物を演じる、日本が世界に誇る伝統芸能です。落語の笑いの中には風情があり、人情があり、「日本に生まれて（暮らしてきて）よかった」と思える瞬間が数多くあります。日本で生活をしている上で、せつ々しく、ぜひ児童・生徒さんにこの素晴らしい芸能を知って、好きになってほしい。このプログラムがそのきっかけになればと思うのです。

て 上方落語は笑いのルーツ

辻 咄（大道芸）から始まった上方落語と、座敷咄から始まった江戸落語。落語には二つの流れが存在します。とりわけ上方落語は雑踏の中、人目を惹き、目の前の人を笑わせる、値打ちを認めてもらって銭をとる。そのために面白おかしい滑稽噺が主流となり、おのずと演出も派手になったわけです。「笑いの本場は？」と問われれば誰も「関西」と答えるでしょう。笑いの精神は脈々と受け継がれ、上方落語は遅く今に生きています。

つ 英語落語とは・・・

世 世界中の人たちに「落語という凄い芸能を知らしめたい」「落語で笑わせたい」、そのような思いで上方落語家である桂かい枝は英語落語を始めました。海外だけではなく国内でも演じてみると「なんて斬新！面白い！」「メリハリがあって初めて聞いた落語でもこっちの方が分かり易い！」など思わぬ反響を呼び、学校の芸術鑑賞会としての需要が今、非常に増えています。

亭 なぜ今、英語落語なのか

英 語落語は英語学習の導入部として最適と考え、「英語落語でより身近に英語を感じてもらえれば・・・」そんな思いを込めてプログラムに英語落語を組み込んでいます。言語が異なる人へ何かを伝えること、相手の主張を受け取ること―「英語を学ぶ」、ということは、人と人とのコミュニケーションを学ぶ手段として有効です。外国人とのコミュニケーションにおいて、感情表現を適切に表すことはとても大切なことですが、日本人はそれが苦手だと言われています。落語という芸は、演者が噺を進めるにあたり、様々なキャラクターを演じる必要があります。演じるというのは、台詞に感情をのせること＝感情を表すことです。当企画において、小ばなしを考え、発表することは感情表現を表す練習になります。また、英語落語を鑑賞し、英語で落語を聞き、笑う事ができた時、英語を理解できたという実感を得て、自信に繋がることでしょう。

○ 『笑てっ亭』 監修・出演

桂かい枝 Katsura Kaishi プロフィール



席亭(監修)

1994年 上方落語の五代目桂文枝に入門。早くから古典落語だけでなく、新作落語・英語落語にも挑戦、落語への多角的な目線と独自の解釈を加える高座は爆笑必至。芸風は上方らしく陽気で賑やか。上方落語の次代を担う騎手として期待されている。
2005年若手落語家の登竜門、「NHK新人演芸大賞」落語部門で大賞、評価を全国区とする。
また、落語の世界だけにとどまることなく、狂言や文楽との共演経験も多く、社会人向けの講座やユニットを組んで子供対象の体験イベントも行うなど様々な古典芸能の普及に日々精力的に活動している。

英語落語の活動は2023年8月現在、28カ国108都市300公演以上。2007年文化庁文化交流使としてアメリカを半年間巡業、33都市90公演。2020年現在、小中高の英語教科書で、英語落語が取り上げられる。また絵本、CDブックなどの出版もある。

【掲載教科書】

- 小学校6年生 英語「Here We go!」(光村図書)
- 中学校2年生 英語「NEW HORIZON」(東京書籍)
- 中学校2年生 英語「ONE WORLD」(教育出版)
- 高校1年生 英語コミュニケーション「ELEMENT」(啓林館)
- 高校2年生 英語コミュニケーション「Revised POLESTAR English Communication II」(数研出版)

他主な受賞は

2001年「大阪府舞台芸術奨励新人制度」奨励新人に指定。2002年「大阪文化祭賞」奨励賞。2003年「第40回なにわ芸術祭」落語部門優秀新人賞、大阪府知事賞、大阪市長賞。「第58回文化庁芸術祭」演芸部門新人賞。「咲くやこの花賞」。2007年「第5回東西若手落語家コンペティション」優勝。2007年「第1回繁昌亭大賞」爆笑賞。2010年「第5回繁昌亭大賞」創作賞。2016年「第11回繁昌亭大賞」奨励賞。2018年「第13回繁昌亭大賞」大賞。

兵庫県尼崎市出身。出囃子は「三枚弾き」。定紋は「結び柏」。上方落語協会会員。大阪樟蔭女子大学客員教授。国立明石高専客員教授。

○ 出演者プロフィール (唄家・ネイティブスピーカー)

※スケジュールに応じてどちらか1名が出演いたします。

桂福龍 Katsura Fukuryu

カナダ出身



本名：デリック・ケイバース
カナダのウィニペグ市出身。日本文化に興味を持ち、2001年に来日する。英語を教えながら、日本語や文化を学ぶかわら、カナダでのマジックやバルーンアート、コメディパフォーマンス経験を活かし、パーティーやイベントなどにも出演していた。落語に興味を持ち始めた2013年頃、英語落語と出会い、日本の伝統と英語の融合に魅了され、自ら落語の台本を翻訳し稽古を始めた。そのわずか数ヶ月後には着席で英語落語を披露。日本語での落語も挑戦したいと考え、同年10月に桂福園治一門に入門。同年11月には正式に桂福園治の11

番目の弟子となり、桂福龍の名前をもらう。師匠について修行を行いながら、関西を拠点に東京や沖縄、与論島など日本各地での寄席に呼ばれ出演している。また落語の魅力を世界に発信したいという想いのもと、フィリピンのANA寄席、ラスベガスやサンフランシスコでの繁昌亭、ハワイのアロハ寄席に出演し、国内外で活躍している。福園治一門のもとで経験を重ね、現在も手話落語を含め着々とネタを増やしている。特技は自分の着物と羽織を縫うこと。

ダイアン吉日 Diane Kichijitsu

イギリス出身



本名：ダイアン オレット
イギリス、リバプール出身。ロンドンでグラフィックデザイナーとして働いていたが、世界中を旅したいと決心し、バックパッカーをしながら1990年に日本にたどり着く。英語落語の先駆者、桂枝雀氏の「お茶子」を語ったことをきっかけに落語と出会い、1998年自ら初舞台を踏む。今までに60ヶ国以上を旅した体験談や、外国人から見た日本文化の素晴らしさを語る講演会の講師、バルーンアーティストとしての一面も持ち、「笑い」で世界を繋ぐ掛け橋となるべく国内外で活動中。2011年の東日本大震災直後、東北の避難所で落語やバルーンアートのボランティア

活動をする中で笑いの大切さを痛感、人生観が一変する。その後インドへ向かい本格的にラフター(笑い)ヨガを学び2013年講師資格取得。現在はラフターアンバサダーとして「笑い」を生活の中に取り入れ、心も身体も健康になる「笑い」の持つ無限のパワーを広く知ってもらう活動にも力を入れている。

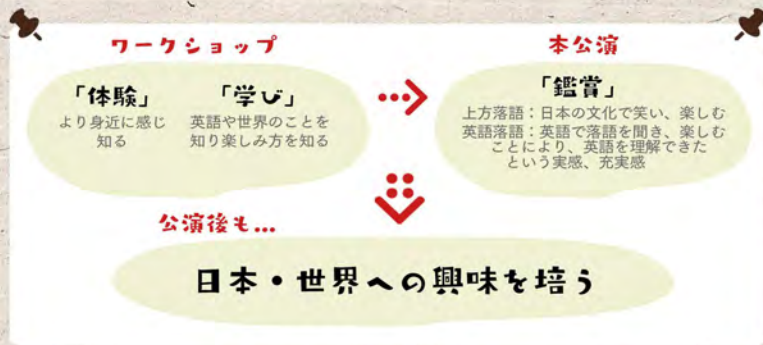
「日本には素晴らしい文化があるから大切にしたい。その良さを世界中の人に伝えたい。そして日本人たちにも改めて知ってもらいたい。」そんな気持ちで日々活動中。2013年、中曽根康弘賞受賞。

工夫と特徴

Point
1

ワークショップでは「英語（世界）」に親しみ、
本公演では「落語（上方落語）」と「英語落語」
をしっかりと楽しむ

ワークショップでは体験や出演者のトークコーナーを通じて、英語に親しみ、「英語」に対する抵抗を払拭、英語落語を鑑賞する下地を築きます。また英語「小ばなし」を楽しみながら、落語への理解を深めていただきます。本公演では上方落語と英語落語の要素をバランス良く配し、それぞれを鑑賞することによって、公演後も「落語」や「英語」に興味を持ち続けていただくことを目的としたプログラム構成をしております。



演目概要

Point
2

空間演出

いつも見慣れた体育館が非日常の空間になっているドキドキ・・・。
子ども達にとって、より良い鑑賞体験になる為には、ステージセッティング
が重要だと考えております。しかしながら、効率の良い運搬、移動をする為、
機材を極力少なくする必要もあり、その限られた条件の中でクオリティを
高く保つための工夫として、プロジェクターの映像を駆使することで、
大掛かりな舞台セットでなくても変化を与え、見た目の華やかさを損なわず
に空間演出を行います。



「英語落語」への不安と実際の反応

「英語落語」に対して、小学校低学年から理解ができるのか、楽しめるのかという声がありました。公演を実施した結果としては、むしろ低学年の子どもたちの反応は良く、逆に会場を先導するように笑ってくれておりました。『笑てっ亭』では、演者自身の演じ方、英語と日本語のバランスの調整や、より直観的に英語へ興味を持ち、楽しむんでもらう為のプログラム構成、また舞台装置においてもプロジェクターにて字幕やイラストを投影するなどの工夫を凝らしております。ここでは、実際に鑑賞された児童・生徒さん方からの感想文の中から一部をご紹介します。

寄せられた感想文

○小学1年生

ふくりゅうさんのじゅげむのながい名まえのやつがおもしろかったです。たのしかったです。

○小学2年生

わたしが一番おもしろかったのは、ふくりゅうさんの「じゅげむ」です。あんなにわらったのは、ひさしぶりでした。また見たいです。

○小学3年生

今日らく語を見せていただきありがとうございます。ととてもわらえました。えい語のらく語も日本語のらく語もとてもおもしろかったです。そのおかげでらく語のことがすきになりました。ありがとうございました。

○小学4年生

英語の落語は私の苦手な英語でも想像力でどんなことかを想像できて、とてもたのしかったです。

○小学5年生

英語の落語も日本語で通訳してくださったので、とてもきやすかったし、お話が分かりました。落語も初めて見たけど、おもしろかったし、いい体験になりました。

○小学6年生

私が一番心に残ったのは、動物園の話です。最後にライオンにもマネージャーが入っていたのがおもしろかったです。私はあまり落語を聞いたことがなかったので、もっと聞いてみたいなと思いました。

○中学1年生

落語を見るのは、初めてであんまりイメージがなかったけど、楽しめて良かったです。英語落語は、「私が英語苦手だし、意味が分かるかな？」と思ったけど、字幕がついてて、英語の勉強になるので、一石二鳥だなと思いました。

○中学2年生

初めて生の落語を見ました。本当にいない人がいるように見えて、感動しました。英語落語も簡単な英語の所は意味が分かり、楽しめました。他国でも日本の落語が見られて多くの人が笑っていると思うとすごく嬉しいです。英語も発音が本格的でびっくりしました。

○中学3年生

今回、上方落語と英語落語を鑑賞して、プロの方の落語はすごいなと思いました。身振り手振りだけで一つの世界観を見せるのはとてもすごいと思いました。また、英語落語は英語が難しい人でも、分かりやすくプロジェクターなどを使って面白かったです。こんなにおもしろい日本の文化があると知れてよかったです。海外にもっと広まったらいいなと思いました！

を桂全
を聞福
いて英
の語語
反話
応落
落語

演目概要



別添③

笑てっ亭 ワークショップ

当企画において、C区分の特性や、日程をまとめることにより、学校への日程的な負担を減らすことを考慮し、ワークショップと本公演は同日で開催することを想定しております。
同日で開催することにより、ワークショップで聞いたことや体験したことが明確な状態のまま本公演を鑑賞することができ、事業内容としてより効果的であると考えます。
※別日程での開催をご希望の場合はご相談ください。

【公演時間】50分

プログラム

※以下プログラム内、出演者「桂福龍」はスケジュールの都合によって、「ダイアン吉日」に変更になる場合があります。

ワークショップは、『落語』『小ばなし』を通じて、
英語（世界）に目を向け、
興味をもってもらう為の入り口となるような
プログラム構成となっております。

👍 = 意図（知っていただきたい内容）と工夫

まずは開演のご挨拶。小ばなしのレクチャーからスタート

1 イントロダクション 桂福龍

『マクラ』とは落語における導入部（＝イントロダクション）。笑てっ亭プログラムのマクラとして、桂福龍が小ばなしについて指導をします。英語の発音練習や感情の乗せ方、表情の作り方を日本語でレクチャー。ここでのお話がワークショップ後半に実施する「小ばなしグランプリ」につながってきます。



👍 落語も小ばなしも一人で複数の登場人物を演じ分けます。一人で演じる際の演じ分け方、セリフの表現の方法などをレクチャー。

Where is my hat?

It's on your head.

Oh!



ワークショップ実施形態
及び内容



楽しみながら知る、世界の中のニッポン

異文化トーク（桂かい枝&桂福龍）



かい枝（日本人）と福龍（カナダ人）がスライドを使いながら、日本とカナダの違いや、日本に来て驚いた習慣などについてお話しします。

異なる立場から見た日本の姿。違う視点だからこそ見えてくるそれぞれの違い。違うからこそお互いを認め合い、尊重する大事さなどを、2人のトークでおもしろおかしくお伝えします。

通学時間って何分かった？

だいたい4時間くらいw



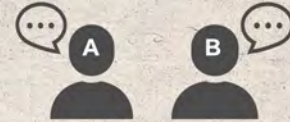
ワークショップ実施形態及び内容



3

英語で落語（小ばなし）を演じてみよう

英語落語コンテスト



公演日までに練習をしてもらった「小ばなし」を、各クラス、2人1組ずつの代表ペアに英語で発表していただきます。どのペアが一番上手に演じることができるか。審査員は桂かい枝、桂福龍。そして『特別審査員』は学校の先生。

👍 人前でお話をする事で自信をつけていただき、そして表現力の向上を図ります。コンテストを通し落語のイロハ、そして英語を学びます。

発表の形式（2人1組で小噺を発表）

各クラスの代表ペアが二人一組でAとBのキャラクターに分かれて発表【日常会話（お芝居）として演じてください】



桂かい枝が“落語”で小ばなしを実演 ← 演技指導の為

発表の際のポイント

- 1.感情を豊かに表現（うれしい、かなしい、驚き、かゆい、痛い など）
- 2.大きくボディランゲージなどの仕草を使い、よりリアルに表現



全クラスの代表ペアの発表を行い、その中からグランプリを決定！！
【審査員】桂かい枝／桂福龍／校長先生 or 学校の英語の先生（特別審査員として）

【落語＝日常会話】

落語は登場人物間の会話を中心に進行していきます。何気ない2人の会話から落語の様々なストーリーが生まれてくるのです。落語の基礎である小ばなしも同じです。AとBの2人のキャラクターの短い会話で生まれる笑いのショートストーリーを演じて、落語を体験してみましょう。



ワークショップ実施形態
及び内容

事前学習（代表ペアを決めていただく段取り）

ワークショップ当日までに、『英語小ばなし資料』を参考に、授業などで英語小ばなしの練習（レッスン）を行ってください。

※練習の際は、桂かい枝、桂福龍が実演するオリジナル動画をご活用ください。資料に記載されているQRコードから、YouTubeで動画をご覧ください。落語をご存知ない先生にも、効率良く、ご指導いただけます。



小学校低学年（1～3年生）、小学校高学年（4～6年生）、中学生向けにそれぞれ小ばなしの例題を作成してあります。

発表していただく小ばなしは例題の中からお選びください。

例題を参考にオリジナルの小ばなしを創作していただくのも良いでしょう。

2人1組でAとBのキャラクターに分かれ、会話をするように小ばなしを演じます。

落語のように1人での発表をすることもできます。

最終的に当日出演をするクラス代表のペアをお決めください。

代表ペアの数は、

小学校は学年毎

中学校はクラス毎

などを基準として、6組を基本設定とさせていただきます。

代表ペアの数についてはご希望に応じて増減が可能です。（伴い、公演時間が変動します）

小噺の例題の一部

簡単レベル

レベル1 小学校・低学年

どこにある？

A : Where is my hat? (僕の帽子、どこにある?)

B : It's on your head. (かぶっているよ)

A : Oh! (オー)



中級レベル

レベル2 小学校・中～高学年

スープ

A : Your thumb is in the soup! (親指がスープにつかっているじゃないか)

B : Don't worry. This soup is not too hot.
(ご心配なく、スープはそんなに熱くないので)

事前学習用の資料として、『英語小ばなし資料』をお送りいたします。各小ばなしには演じ方の脚本として動画を準備しており、資料に記載の動画URLから閲覧していただくことができます。

上級レベル

レベル3 中学生

手術

A : Doctor, this is my first surgery. So, I'm afraid. I don't know what to do.

(先生、私、初めての手術なので、心配でどうしていいかわからないんです。)

B : I know well. This is my first surgery, too.

(お気持ちは分かります。僕も初めてなんです。)

ワークショップ実施形態
及び内容



蒙校寄宿席

橘左近



老舗でありトップランナーの影向舎がご提案する

落語は学校公演の
スタンダード

学校寄席

オーダーメイドの落語鑑賞会

Point トップシェア

業界ナンバー1の実績

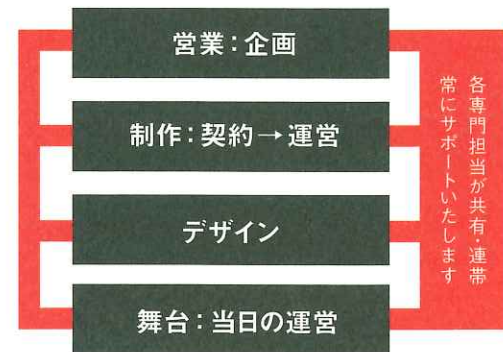
老舗(実績)・組織力・舞台・出演者・構成力、全ての面を磨き続けて参りました。高等学校の『寄席(落語)』番組では同業他社が10数社ある中、**全体の80%近いご支持**を頂いています。



Point 組織力

安心の段取り

先生方にとって公演成果はもとより、公演当日までの段取りが重要。
全般にわたり、各専門担当がサポートいたします。



▲ 作品工房を備えた自社ビル

Point 老舗力

経験に裏打ちされた自信

「学校寄席」がスタートして46年。
長年のあゆみの中で積んだ経験、それを活かし寄席芸能の本質をお届けします。



Point 出演者

どこよりも厚い出演者層

若手から大看板、江戸から上方と、業界の中でも**圧倒的な出演者層**を擁しております。そして経験に裏打ちされたノウハウを活かし、最適なプログラムをご提供します。



Point 舞台

本格的な寄席舞台を再現

体育館公演でも、**ホール寄席と比べて遜色のない舞台を再現**します。生徒さんは寄席の雰囲気にとっぷり浸かり、出演者は本気の芸を披露します。



+ 寄席入門



「高座」や「めくり」などの舞台上の説明や、当日の出演者の紹介など、分かりやすく紹介します。

+ 落語体験コーナー



代表の方に舞台上にあがっていただき、扇子・手ぬぐいなどを使って落語の仕草を体験していただきます。

+ 式典にぎやかし



入場時のお囃子の演奏や獅子舞の演奏などでお目出たい式典などの行事を盛り上げます。

+ 下座(生演奏)



下座(三味線や太鼓による寄席で流れるお囃子のBGM)が生演奏で入ります。より本格的な寄席の雰囲気を楽しむことができます。
 ※寄席入門では、通常の「寄席」の解説に加え、舞台の裏方である下座さんが表に出て解説をいたします。(下座解説)
 ※通常の学校公演では録音のお囃子を再生します。

影響舎だからできる、オリジナル企画作品

※詳しくは別冊パンフレットをご参照ください

龍齋貞水妖怪談



人間国宝・一龍齋貞水がその至高の話芸で送る、恐怖の世界



色物人気No.1の「紙切り」と落語による、新感覚コラボレーション



二楽劇場

紙切り芸人・林家二楽が音楽と共にお届けする、楽しくて切ない紙切りストーリー



八王子車人形と落語

落語の囃に合わせて、人形が舞う。「落語」と「人形芝居」の競演



英語落語

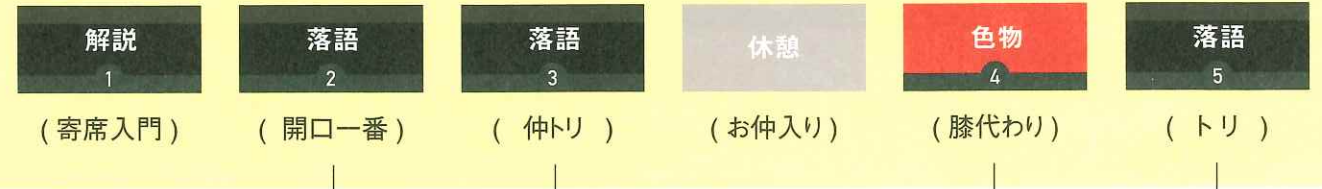
中学生向け英語教科書にも掲載されている、桂かい枝の英語落語

構成例

オーダーメイドで作る落語プログラム

例1

解説／落語／落語／休憩／色物／落語 【公演時間：2時間】



例えば



春風亭昇也



三遊亭円馬



三増紋之助
(曲ごま)



柳家喬太郎

オーダーで番組作り

- 一 「トリ」と「仲トリ」で異なるタイプで組む(トリや仲トリの落語を上方落語や講談に)
- 二 色物ご希望により選択が可能です(太神楽曲芸、紙切り、曲ごま、漫才、和妻、マジック 他)
- 三 開口一番は若手がいいでしょう(二つ目ないし若手真打を全体のバランスに合わせて組む)
- 四 寄席入門(生の演奏の下座解説を入れることができます)
- + 落語体験コーナーを入れられます

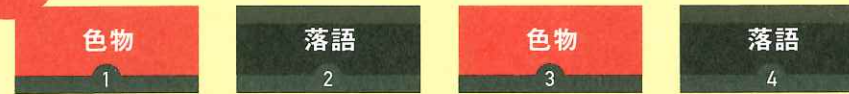
例2

解説／落語／体験コーナー／休憩／色物／落語 【公演時間：1時間40分】 ◀体験コーナーを入れてより身近に



例3

色物／落語／色物／落語 【公演時間：1時間30分】 ◀色物を入れてより見やすく



例4

解説／落語／体験コーナー／落語 【公演時間：1時間10分】 ◀小規模校にはこれがオススメ



【主な演者一覧】

学校公演に精通した、「学校寄席」を盛り上げる芸人たち

※学校や、地域にゆかりのある芸人など、ラインナップにない出演者もお気軽にご相談ください。

江戸落語



上方落語



講談



浪曲



色物



寄席豆知識

テキスト監修：長井好弘



江戸落語



上方落語

江戸落語は商家や武家の座敷に呼ばれて演じるという「座敷噺」の形で発達したため、じっくりと聴かせる噺が多い。上方落語は盛り場の辻で、行き交う人を呼び止めて演じた「辻噺」を起源とするため、にぎやかな噺が中心になる。演出も派手で、演者の前に見台や膝隠しなどの道具を置き、小拍子を叩きながら演じることも。

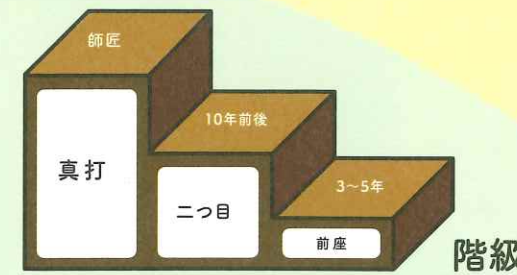


講談

歴史上の人物や出来事を独特のリズミカルな調子で語る芸。演者は、釈台という小机を、手製の張り扇でパパンと叩きながら、物語を進めていく。将軍や大名を前に歴史書など講じた「軍記読み」を祖とするため、演目を「読み物」といい、真打を「先生」と呼ぶ。落語との交流の歴史は深く、落語になった講釈種は数多い。近年、女流や若手の台頭で、注目を集めている。



色物



階級

寄席で演じられる落語・講談以外の演芸の総称。曲芸、奇術、漫才、紙切り、コントなど、分りやすく肩の張らないレパートリーの数々は、寄席興行には欠かせない存在だ。落語のような伝統芸とは一線を画し、それぞれが独自の得意芸をみ出す「一人一芸」の要素が強い。「落語や講談と区別するため、出番表に赤字で記した」「番組の彩りになるから」などが語源と言われる。

古典落語と新作落語

昭和の戦後から始まった落語の分け方。江戸から明治の風俗を背景に、大正の初め頃までに作られ、代々磨かれてきたものを「古典落語」、大正中期以降に作られ、作者がはっきりわかるものを「新作落語」と呼ぶ。新作落語からは、戦前に柳家金語楼、戦後には三代目三遊亭円歌という人気者が誕生。現代では三遊亭円丈の「実験落語」、上方では桂三枝（現・六代目桂文枝）の「創作落語」などが知られている。



トリ

寄席番組の最後の出番のこと。この役割を務めることを「トリをとる」という。昔、主任格の演者が、席亭（寄席の経営者）からその日のギャラを全部受け取り、他の出演者に分配していたことから「取り=トリ」となったらしい。興行の責任者として芸の力と集客力が問われるため、落語家にとっては試験であり、名誉でもある。

噺の種類

小噺から長編まで含めれば、落語の演目数は4~500席あるといわれる。大別すれば、落とし噺（オチのある面白いネタ）と、人情噺（人間の喜怒哀楽をテーマにしみじみ聞かせるネタ）の2種類になる。また、噺のスケールや演者の格によって「前座噺」「中ネタ」「トリネタ」と分けることもできる。

落語を中心に様々な演芸が演じられる場所。「よせ」と読む。当初は「寄せ場」「人寄せ場」などと呼ばれた。江戸中期・寛政年間(18世紀末)に誕生し、幕末には江戸市中に数百件を数えたが、現在は、東京に4か所、大阪には1か所の「定席」(常設の寄席)が、年中ほぼ休みなく営業している。

寄席について



紙切り:林家正楽



表紙 寄席文字書
橋左近 (たちはな さこん)

昭和36年：橋右近に師事
昭和39年：「左近」を襲名
寄席文字(橋流寄席文字)橋会顧問。
右近師没後は一門の総帥として現在後継者育成に尽力。



裏表紙 紙切り作
林家正楽 (はやしやしょうらく)

昭和41年：林家小正楽(二代目林家 正楽)に入門
昭和45年：「林家一楽」で初高座
昭和63年：二代目林家小正楽を襲名
平成12年：三代目林家正楽の大名跡を襲名。



寄席豆知識 テキスト監修
長井好弘 (ながい よしひろ)

読売新聞記者、都民寄席実行委員。
浅草芸能大賞専門審査員。
落語、講談、演曲、諸演芸、文楽、歌舞伎と饅頭が好き。
「新宿末広亭「春夏秋冬」定点観測」「寄席おもしろ帖」など
著書、編著多数。



www.yougou.co.jp



0120-11-4548

〒243-0005 神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号

TEL. 046-297-0255 (代表) FAX. 046-297-0256 E-mail : koten@yougou.co.jp